

大麦管理特報 ~第2号~

令和6年10月
黒部市
黒部市農業技術会議

大麦の収量・品質を高めるためには、健全な根づくりで年内の莖数を確保することが重要です。今後は、ほ場の排水対策や追肥を的確に行い、越冬前の生育量を確保しましょう。

1. 播種

播種が遅れている場合は、早急に排水対策を行い、10月中に播種を必ず終わらしましょう。

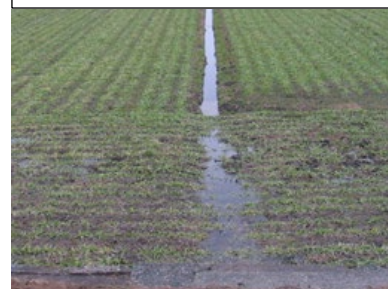
＜播種時期ごとの播種量の目安＞

播種時期	目標苗立数 (㎡当たり)	播種量の目安(10a 当たり)	
		ドリル播	表面散播
10月中旬	200本	8.5kg	9.0kg
10月下旬	230本	10kg	

2. 排水対策

- ① 降雨後、ほ場を点検し、停滞水が残っているようであれば、新たな溝を掘るなどして、畝の表面に溜まる水を排除しましょう。
- ② 排水溝が排水口まで連結されているかを再度確認し、ほ場内に水が溜まらないよう、随時手直しをしましょう。

【降雨後のほ場の様子】



排水口



停滞水が残っている

3. 年内追肥（分施肥のみ）

※追肥は11月中旬までを目途に遅れずに施用し、年内生育を確保する。

施肥時期	肥料名	施用量
播種1か月後	硫安	20 kg/10a

注) 基肥にエコ大麦44号を使用した場合、追肥は必要ありません。